西東京市市民協働推進センター
平成２１（2009）年度第１回　運営委員会会議録（確定稿）

■開催日時：平成２１年5月１９日（火）　午後7時～9時
■開催会場：イングビル3階　第１会議室
■出席委員：熊田委員、小林委員、坂口委員、中曽根委員、橋本委員、原委員、宮﨑委員、柳澤委員、
山辺委員、吉田委員
<以上１０名、五十音順>
■事 務 局：賀陽事務局長、丸木地域福祉課長、中澤主事、鈴木センター長

○事務局長あいさつ

○委員の委嘱

○自己紹介

○西東京市市民協働推進センター受託の経緯説明

西東京市社会福祉協議会（以下「社協」という。）は当初、「ボランティアセンター」の名称で福祉分野のボランティア活動推進を中心に事業を進めてきた。その中で、地域課題を解決するには従来からの福祉分野のボランティア活動推進の枠を越え、幅広く事業を進めていく必要があると考え、市民の力を借りて同センターの強化プランを作成。それに基づき、平成15年に名称も「西東京ボランティア・市民活動センター」に変更した。昨年の9月には3カ年のアクションプランを立てたが、そこでも幅広く多様な団体、分野の人とつながっていく必要性が確認された。これと並行する形で昨年 12 月、西東京市が協働をテーマに市民活動の結びつきを図る事業を提案。プロポーザルで受託先を決めることになり、社協と市民協働推進センターの目指すものが合致したため受託を希望。今年1月、公開プレゼンテーションを経て、審査の結果社協が受託することに決定した。

【議題】

１．西東京市社会福祉協議会担当理事候補者選出について

●話し合いの結果、熊田博喜氏を選出。

２．副委員長の選出について

●話し合いの結果、山辺真理子氏を選出。

※本日の座長を担当理事候補者の熊田博喜氏とし、会議を進める。

３．会議録の公開について

事務局：運営委員会においてどのような議論がされているのかを広く市民に知ってもらうのは大事なこと。会議録は公開したいと考えている。公開する際には、発言者をどう表記し、発言内容をどのような形で書くかを検討していただきたい旨、提案する。

委　員：公開に異存はない。発言者の表記については委員なのか、それ以外の人なのかがわかるレベルでよいのではないか。

座　長：注目を集めているセンターであり、運営委員会において何が話されたのかを公開しないわけにはいかない。公開するということでよろしいか。
次に発言者の表記の仕方だが、委員の名前を明記すると、責任を持った発言となる半面、誹謗中傷を招いたり批判が集中したりして自由な発言ができなくなるおそれもあり、一長一短といったところである。

委　員：市民参加条例の中で議事録は３つのとり方が示されている。
①発言者の名前を出し、内容は全文。②「委員」とだけ表記して、要旨を載せる。③決定したことだけ

載せる。ボランティア・市民活動センターの運営委員会の場合は②のやり方だが、（会議録に）とくにクレームがついたことはない。誰が発言したのかわからないと言われたことはなく、内容も要約でよいのではないか。

委　員：誰が要約し、内容の最終確認をどう行うのか。

事務局：今日のことは次回委員会までに各委員にメールで送り、メールで返事をいただく。最終的には次回会議の席で修正点の指摘を受け、そこで確定していただく形を基本に考えている。

委　員：次回会議で確定した後、外部にはどういう形で出すのか。

事務局：紙ベースでの会議録をセンターに置き、閲覧できるようにする。またセンター単独のホームページがないので、当面は社協のホームページで閲覧できるようにすることを考えている。

委　員：社協のホームページに載せると、センターが社協の一部であるような誤解を招きかねない。センター独自のホームページを立ち上げる可能性はあるのか。

事務局：（ホームページを）立ち上げる可能性はある。

座　長：当面は仕方ないが、社協のホームページを見る人が混乱しない形で掲載してほしい。センターのホームページが立ち上がったらすみやかに移行していただきたい。

委　員：司会者であることがわかる委員長以外は「委員」でよいと思う。要点を書くという考え方にも賛成だ。全文では業者に託すことになる。事務局でやるには手間も時間もかかる。

座　長：委員長は委員長と記載し、それ以外はすべて「委員」で統一する。全文記載については、（事務局には）議事録のまとめ以外にしてもらいたいことがたくさんあるので要点を筆記してもらうという形でよろしいか。

●匿名、要約記録とすることを承認する。

４．運営委員会の傍聴について

事務局：運営委員会傍聴要領を定めた。これにしたがって会議を傍聴してもらいたいと考えるので検討していただきたい。

座　長：後ろの方で聞いていただくことになるであろう。とくに問題はないと思う。

事務局：委員名簿の公開について、住所や連絡先が記載されていないものを公表して差し支えないか。議事録での出席委員の公表についても了承をいただきたい。

委　員：肩書を記している方と記していない方がいる。

座　長：仕事上の役職はどうか。

（当該委員の希望により、この日配布した名簿の「所属等」の表記を公開時点で一部修正することを決定）

委　員：会議によっては、開会後の入室を断る場合がある。途中で入室されると会議に支障が出ることも考えられるので、この委員会でも傍聴人へのお願い（掲示物）に「開会前に届け出ること」を明示した方がよいのではないか。

委　員：こういう委員会を傍聴しに来てくれる人は「次なる公募市民」といえる。できるだけ温かく迎えたい。

座　長：入室時刻は制限がなくてもかまわないのではないか。ただモラルのない人は困るので「静かに入室してください」という一文を、傍聴人に守ってもらう事柄に入れるよう事務局にお願いしたい。

委　員：この会議室だと、５人くらいは入れる。資料はいつも５部用意するのか。

事務局：（人数分でなく）回覧して見ていただくスタイルとしたい。

委　員：委員会が何について審議するのかが前もって分かるのだろうか。それを市民に知らせることができれば、傍聴しようという人が増えるのではないか。

事務局：社協のこの種の会議には（傍聴人は）ほとんど来ていない。議題については事前に委員長、副委員長にお知らせし相談することになると思う。そこで決まれば事前に市民にお知らせすることはできる。

委　員：広報紙はなくしたらそれきりである。インターネットでいつでも見られるように工夫したらどうか。

座　長：１年やってみないと、なかなか（テーマなどが）見えてこないところもある。

委　員：ひっ迫した問題を議論する場合は傍聴人が大勢来て資料の奪い合いになる。１部を閲覧することとなったが、今後の状況を見て資料の数を検討してほしい。

座　長：センターは走り出したばかりで手探りの部分も多いだろうが、事務局はできるだけ次の検討課題をアップして多くの人に傍聴に来てもらえるように情報提示していくことが大事だ。今後どうしていけばよい

か、継続的な課題として検討してほしい。

５．西東京市市民協働推進センターの事業および予算について

○事務局が 2009 年度事業計画を説明した。計画内容は 08 年 12 月の市の委託先募集にエントリーした段階で提示したものをベースとし、受託後に内容を詰めて作成したものであることを口頭で説明した。

委　員：（センターの）利用は登録制か。
事務局：使う分には登録の必要はない。団体登録するとメリットがある。
委　員：別の施設で団体登録しようとしたら、団体に加入する全員の名簿の提出を求められた。市民が何割を占めるかも問われる。手続きなどがまちまちで利用者は大変だ。横のつながりが無いと思う。考えていただきたい。
事務局：このセンターでは、名簿は提出でなく見せていただいた後はお返しする。また市民でなくても、西東京市を主な活動場所としていれば認めている。
委　員：「協働」という言葉を一般市民はわからない。徹底的に売り込まないといけない。また年間計画は優先順位をつけたほうがよい。１年後にまた同じような計画を出すことになりかねない。
委　員：人材バンク、情報提供者の確保、ワンコイン集会はやらないということか。
事務局：人材バンク（による人材情報の提供）は、今年度は作るための調査をするという位置づけで、事務執行計画案には載せていない。社協系ではすでに府中市が実施しており、横浜市では活発な取り組みがなされている。また、ワンコイン集会は、当初 500 円程度の参加費を徴収して、気軽に参加ができる出会いの場をイメージしていたが、市との協議の中で実費以外の参加費徴収については慎重に検討すべきであるとの結論に達したため、名称をトークサロンに置き換えた。その他、「情報協力員」も立ち上げるための調査期間との位置づけとしている。

６．市民活動団体の連絡会について

座　長：（委員の任期の）２年間でセンターをどうしていくか、いろいろ詰めていきたい。
事業・事務執行計画で何に取り組もうとしているのかを説明してほしい。
事務局：（資料に基づき説明）
委　員：「市民活動団体連絡会」とは連絡会を作るということか。
事務局：各団体が抱えている課題や取り組みを話し合える場を作るということだ。
委　員：集会ということか。
事務局：当面は団体が集まって、いろいろな課題を議論する場をつくっていくことを目的とする事業と考えている。それを経て参加した団体が独自に連絡会を作っていこうとすれば、それを支援するのもセンターの仕事の一つと考える。
委　員：連絡会という言葉が紛らわしい。別のネーミングを考えてはどうか。
委　員：市内には「西東京市ＮＰＯ法人連絡会」がある。それにＮＰＯ法人という特定団体で固まるより、緩やかな仮称「西東京市民活動ネットワーク」のようなイメージで考えたほうがよい。
委　員：環境団体も連合会を作りたいが、自然環境か都市問題か、あるいはすべてを入れるか、さらに平和、道路とかあってくくりができず悩んでいる。センターにはどのようにかかわっていただけるのか。
事務局：答えにならないかもしれないが、分野にとらわれず、垣根を越えたところで集まれたらいいと思う。隣がなにをしているかが、意外と見えていないのではないか。そこに協働が生まれる可能性があると思う。
委　員：ちょうど同じような試みが神奈川県の大都市の中間支援組織で行なわれようとしている。ところが最初から設置要綱が出来上がっていたため、市民が発意したのでなく上から下ろすネットワークではお仕着せではないかという声もあった。初めから型にはめるようなことはしないほうがよい。
委　員：とはいえ、いつまでも「集まればなんとかなるだろう」ということでは展望が開けない。まるっきりシナリオがないのでは先行きは難しい。センターはまとまりを作る旗振り役をするのか。
事務局：必要に応じ、そのように考えている。
座　長：この企画はもっと詰めて委員会に提示していただけるのか。
事務局：そのようにする。

７．東大農場との協働について

座　長：予算と東大農場の件に移る。
事務局：事業計画と予算は、本来ならば運営委員会に諮って最終決定すべきものであるが、委員会の発足が遅れたため社協の理事会、評議員会で最終決定となっている。それぞれの事業の細部は固まっていないが、大枠の事業と予算については申し訳ないがこれで進めさせていただきたい。
事務局：東大農場との共同事業は資料に載っていない。08 年度末から市と協議してきたが検討に時間がかかった。センターの事業として承諾していただきたい。これに伴い、市受託金収入が若干プラスになる。
座　長：これは審議事項ではなく報告事項か。
委　員：追加事業ということか。
事務局：そのとおり。
委　員：受託がどういう枠組みなのか知りたい。個別の課題ごとの協働事業をここが受託するのでなく、関心をもっている団体をうまくつなぎながら受託しないと、場合によっては市内のＮＰＯ法人とライバル関係になってしまう。受け方は慎重であってほしい。事業を進めながらネットワーク作りをうまく進めていったらいい。
座　長：全ての取り組みをなんでもかんでも協働推進に引き寄せると問題が出てくるかも知れない。どういったところで協働を担うのかについても委員会で意見交換し、役に立つ協働センターの形にしていきたい。

８．次回運営委員会日程について

座　長：次回の運営委員会の日程と持ちかたをどう考えるか。事務局に腹案はあるか。
事務局：月１回定例的に開催できればと考えている。
座　長：今日が火曜日で 19 時からの開催。事務局もみなさんの時間を調整してくれたと思うので、みなさん、来月以降も原則第 3 火曜日の 19 時からでよろしいか？
委　員：（全員同意）
座　長：それでは、次回は 6 月 16 日（火）の 19 時～21 時ということでお願いしたい。
委　員：8 月はお盆も重なるので、休みということでどうか。
座　長：賛成する。
委　員：開催場所は毎回変わるのか。
事務局：基本はイングビル会議室としたい。場合によっては「ゆめこらぼ」になるかもしれない。
事務局：７月の事業予定を市報に掲載するため了解を得たい。
座　長：６月の運営委員会で経過を報告してもらうとともに、委員会においてご意見をいただき、その時点で微調整が可能な部分については、委員会の意見を参考として、より良いものとすることでよろしいか。
委　員：　（全員同意）
以上をもって散会する。